



はんなん
Hannan City Council

市議会だより

2025年
令和7年
12月号
NO. 138

発行：阪南市議会 編集：議会広報編集委員会 〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5680(直通)



▲市民の皆さまの声を大切にし、より良い市政を目指してまいります



市議会議員14人が決定 **2**



議会の役員構成決まる **3**



令和6年度一般会計歳入歳出決算審査認定 **5**

一般質問 **8**



第2次阪南市子育て拠点再構築方針及び
パブリックコメントの結果等について **12**



はんなん市議会だより
Webサイト

市議会議員14人が決定

令和7年9月21日執行の阪南市議会議員一般選挙により、14人の議員が選出されました。

世代を超えて安心と活力あふれるまちへ、新体制で挑みます！



①4 本郷 真也 36歳
②下出39番地の7
③大阪維新の会
④090-1344-9887



①3 杉本 哲也 46歳
②下出81番地の4-107
③大阪維新の会
④090-9715-2353



①2 百々 麻希 50歳
②箱作241番地の5
③大阪維新の会
④080-5346-4425



①1 大脇 和子 70歳
②貝掛1336番地
③日本共産党
④476-3448



①8 中村 秀人 63歳
②尾崎町5丁目26番1号
③無所属
④457-7238



①7 石橋 史年 59歳
②さつき台1丁目7番7号
③無所属
④080-8512-4579



①6 山本 光男 58歳
②箱作313番地の3
③無所属
④080-3110-5553



①5 岩室 敏和 78歳
②黒田714番地の4
③無所属
④471-1740



①12 福田 雅之 61歳
②尾崎町1丁目4番23-2号
③公明党
④472-5906



①11 二神 勝 58歳
②緑ヶ丘1丁目23番13号
③公明党
④471-7243



①10 山本 守 66歳
②自然田658番地の13
③公明党
④473-3818



①9 見本 栄次 73歳
②新町289番地
③無所属
④471-1052



- ①議席番号
- ②住所
- ③所属政党
- ④電話番号

(令和7年10月8日現在)



①14 岡 やよい 49歳
②箱作1178番地の32
③無所属
④080-6947-6784



①13 畑中 譲 58歳
②鳥取223番地の9
③無所属
④473-0077

第 1 回 臨時会

議会の役員構成決まる

改選後、初議会(令和7年第1回臨時会)が10月8日に開催され、議会の役員等が選出されました。



監査委員
中 村 秀 人



議 長
山 本 守



副 議 長
畑 中 讓

総 務 事 業 常任委員会委員

主に次の内容を審査します。

- 市の財政に関する事
- 危機管理、防災に関する事
- 都市計画、まちづくりに関する事
- 上下水道に関する事
- 人権啓発の推進に関する事
- ほか



委員
畑中 讓



委員
福田 雅之



委員
中村 秀人



委員
山本 光男



委員
百々 麻希



副委員長
本郷 真也



委員長
二神 勝

厚 生 文 教 常任委員会委員

主に次の内容を審査します。

- 環境保全に関する事
- 国民健康保険、国民年金に関する事
- 福祉施策に関する事
- 子育て支援に関する事
- 教育に関する事
- ほか



委員
山本 守



委員
見本 栄次



委員
石橋 史年



委員
杉本 哲也



委員
大脇 和子



副委員長
岡 やよい



委員長
岩室 敏和

議会運営委員会

◎福田 雅之 ○杉本 哲也 山本 光男 中村 秀人
岡 やよい (畑中 譲)泉南清掃事務組合
議会議員山本 守 畑中 譲 中村 秀人 岩室 敏和
岡 やよい 石橋 史年泉州南消防組合
議会議員

山本 守 二神 勝 本郷 真也

大阪広域水道企業団
議会議員

二神 勝 (令和7年11月1日～)

大阪府後期高齢者医療
広域連合議会議員

岩室 敏和 (令和7年10月29日～)

議会広報編集
委員会委員◎石橋 史年 ○山本 光男 本郷 真也 福田 雅之
岡 やよい (畑中 譲)

※◎委員長 ○副委員長 () オブザーバー

※議長は全ての委員会に出席する。

阪南市議会 会派別議員名簿

◎印 幹事長 ○印 副幹事長



令和7年10月8日現在

無会派	無会派	阪南市会 市民の会		進成会		市民に よりそう会		公明党			大阪維新の会			会派名
大脇和子	見本栄次	○岩室敏和	◎山本光男	○畑中譲	◎岡やよい	○石橋史年	◎中村秀人	山本守	○二神勝	◎福田雅之	本郷真也	○百々麻希	◎杉本哲也	氏名

第1回 臨時会にて可決した議案一覧(本文掲載議案は除く)

阪南市監査委員の選任につき同意を求めることについて

第3回
定例会令和6年度決算を
全会一致で認定

『財政非常事態 解除宣言』しました

決
算〔令和6年度阪南市
一般会計歳入歳出決算〕

歳出については、学校給食センター改修事業の実施などにより、220億2822万2802円となり前年度比11・8%増加となりました。

歳入については、学校給食センター改修事業の実施などに伴い、市債が増加、222億9960万4461円となり前年度比11・4%の増加となりました。

その結果、翌年度へ繰り越すべき財源を除く、実績収支は2億6031万1659円の黒字となりました。

本議案は、決算常任委員会へ付託しました。

付託委員会における主な質疑・答弁は、次のとおりです。



令和7年第3回定例会を8月27日から9月5日までの10日間の会期で開催しました。本定例会では、補正予算3件、条例改正5件等を可決した他、令和6年度決算を全会一致で認定しました。また、議会から提出した意見書は全会一致で採択しました。

委員 依然厳しい財政状況にあるなかで、なぜこのタイミングで財政非常事態宣言を解除するのか、また解除後、どのような施策運営を行うのか伺う。

行財政構造改革推進室長 行財政構造改革プラン改訂版に掲げる様々な取組を進め、解除基準をクリアしたことから、宣言を解除するものである。

財政非常事態宣言の解除後は、財政収支は直ちに赤字になることはないものの、財政に構造的な課題を有する本市においては、引き続き持続可能な行財政運営の確立に向け、行財政構造改革の取組が必要不可欠な状況である。

このため、プラン改訂版の取組をはじめ、財政規律を重視した財政運営に努め、これらの取組により捻出された財源については、選択と集中により優先順位をつけながら、総合戦略等に掲げる施策を着実に実施し、複雑かつ多様化する市民ニーズに的確に対応できるように取り組んでいく。

委員 特別体験インバウンド事業委託料1500万円について、実績としては観光客に受けが悪かった印象があるが、この原因について伺う。

まちの活力創造課長

本事業が十分な実績につながらなかった主な原因として、①阪南市の行事やそのものが知名度不足であり旅行者の関心を引けなかったこと②有料観光型の内容が旅行者のニーズに合っていないかったこと③情報発信や販売ルートが十分に整っていないかったこと、これらの理由により観光客に特別な感覚や体験価値が伝わらず、販売が伸び悩み十分な集客につながらなかったものと考えている。

今後は、ターゲットに合わせた多言語での情報発信や参加交流型の強化、また、受入れ体制の充実を図るなど、販売実績の向上につなげていく。



委員 いつ大災害が発生してもおかしくない現状のなか、消防団の責任は非常に重いものである。市長自身、市政運営にあたり市民の安全・安心を守る

のが大前提となると思うが、これからも消防力の強化や支援など、できる限りのことをやってほしいと考えるがいかがか。

市長 消防団員の皆様には、平素から阪南市の安全・安心を、また生命・財産を守っていただいていることに深く感謝している。今回指摘があったように、危険なところに向いていかなければならない実情を踏まえ、近隣市の状況や財源確保も含めてその点についてはしっかりと検討していきたい。

委員 認知症初期集中支援チームの報償費の内容及びサポート医がアウトリ―チしている回数について伺う。

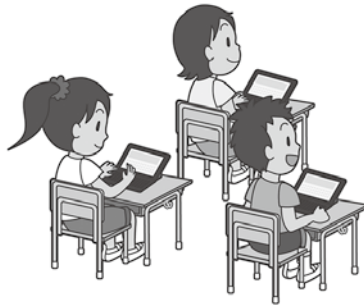
介護保険課長 嘱託医報償費の7万8000円であるが、複数の専門職が関わり、認知症が疑われる方、認知症の方とその家族を訪問し、専門医による鑑別診断等を踏まえ、本人や家族支援など自立生活のサポートを行うものである。

令和6年度実績において、嘱託医の訪問はないが、支援チームの検討会を1回、そして、チーム会議（チーム構成員は包括の保健師、認知症推進委員、医師会、地域連携室のコーディネーター、地域の作業療法士等）を3回開催した。

委員 学習支援アプリの導入内容と評判について伺う。

学校教育課長 学習支援アプリ、ロノートを全小・中学校一斉に導入している。このアプリを使用することにより、子どもたちが画面上で共有をしたり、またはグループになって意見の交換ができたりと、クラスの子どもたちがどのような考えをしているかなど確認することができる。

現在、学校の授業を中心に使用率は非常に高くなってきている。



委員 コミュニティバスの停留所や増便など、様々な声が多く届いている。課題はあるかと思うが、市民の皆さんの意見をしっかりと汲み取っていかなければならないと思う。今後の取組について本市の見解を伺う。

都市整備課長 これまでのダイヤ改正については、主に利用者数などの実績と限られた予算で運行を実施し、いわゆる需要と供給のバランスを図りながら、公共交通としてコミュニティバスの維持可能な運行を目指し実施してきた。

そのような中、阪南市地域公共交通計画策定過程において、市民の皆さんのニーズや利用状況等を把握したいと考えている。コミュニティバスについても、利用実態等を把握した上で、引き続き持続可能な運行を目指して今後の公共交通について検討していく。

委員 日常生活用具給付費1599万3215円とは、具体的にどういったもののなか。

市民福祉課長 日常生活用具とは、特殊寝台（ベッド）、特殊マット、膀胱機能や直腸機能に障害のある方への蓄便袋や紙おむつ、たん吸入器、また入浴補助用具などであり、これらを給付または貸与することにより、日常生活上の動作を容易にし、健康で安全に生活できるように支援しているものである。



委員 サラダホールの大ホールを含めて空調の機能があまり効いていないと意見をいただくことが多い。修繕の予定はあるのか。

生涯学習推進室長 サラダホールの総体的な空調設備の更新は、社会教育施設長寿命化個別計画に基づき、大規模改修の一環として令和7年度、令和8年度の2カ年で、総額約5億5600万円をかけて、文化センター及び図書館の熱源機器及び空調設備の更新を予定しており、現在は、熱源機器の更新に係る設計業務を行っているところである。

今後、今年度の上半期から熱源機器の更新工事を実施して、令和8年度の夏前には工事完了を予定しており、夏には施設内の冷房がある程度効くと見込んでいる。また、令和8年度には各室の空調機器の更新を予定しており、このまゝいけば、令和8年度末にはサラダホール内の全ての空調設備の更新が完了する見込みである。



▲阪南市立サラダホール

◎全会一致で認定

意見書 を可決し、国等へ送付しました

○再審法改正に向けた速やかな議論を求める意見書（全会一致）

《要旨》えん罪は、国家による最大の人権侵害の一つである。えん罪被害者の人権救済は、人権国家を標ぼうするわが国にとってはもちろん、地域住民の人権を護る義務を有する地方自治体にとっても重要な課題といえる。

えん罪被害者を救済するための制度としては「再審」がある。再審請求手続きの審理の進め方は、事件を担当する裁判官によって区々となっており、再審請求手続きの審理の適正さが制度的に担保されず、公平性も損なわれている。

その中でも、とりわけ再審における証拠開示の問題は重要である。過去の多くのえん罪事件では、警察や検察庁といった捜査機関の手元にある証拠が再審段階で明らかになって、それがえん罪被害者を救済するための大きな原動力となっている。したがって、えん罪被害者を救済するためには、捜査機関の手元にある証拠を利用できるよう、これを開示させる仕組みが必要であるが、現行法にはそのことを定めた明文の規定が存在せず、再審請求手続きにおいて証拠開示がなされる制度的保証はない。証拠開示のルールを定めた法律の制定が不可欠である。

えん罪被害者を一刻も早く救済するために、次の点について、再審法改正に向け速やかに議論を行うよう強く求める。

- 1 再審請求手続きにおける証拠開示の制度化
- 2 再審開始決定に対する検察官による不服申立ての禁止
- 3 再審請求手続きにおける手続規定の整備

第3回 定例会にて可決・承認した議案等一覧

- ・財産の取得について
- ・阪南市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について
- ・阪南市議会議員及び阪南市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び阪南市議会議員及び阪南市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市下水道条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市下水道条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・令和7年度阪南市一般会計補正予算（第5号）

- ・令和7年度阪南市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和7年度阪南市財産区特別会計補正予算（第1号）
- ・令和7年度阪南市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和7年度阪南市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ・令和6年度阪南市一般会計歳入歳出決算認定について
- ・令和6年度阪南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和6年度阪南市財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和6年度阪南市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和6年度阪南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和6年度阪南市下水道事業会計決算認定について
- ・令和6年度阪南市病院事業会計決算認定について
- ・令和6年度健全化判断比率について
- ・令和6年度下水道事業会計資金不足比率について
- ・令和6年度病院事業会計資金不足比率について

第3回
定例会

一般質問

2会派が代表質問を、
6人の議員が個人質問を行いました。
その主な内容を掲載します。



安全・安心なまちづくりについて

(質問者) 公明党(福田 雅之・山本 守) 二神 勝



問 令和7年度阪南市行政経営計画の地域防災の連携と消防・緊急体制の充実について、新総合防災情報システムの導入による災害対応の効果及び進捗を伺う。また、災害時に家族の一員であるペットとの避難について、本年6月定例会にて質問させていただき、今年度の総合防災訓練ではペットの同行避難の訓練を取り入れるとの答弁であったが、ペットとの避難の取り扱いについての進捗状況を伺う。

答 新総合防災情報システムの活用により、災害時の初動判断の迅速化、市民への周知の的確化、現場の対応と物資配分の最適化が図られ、被害の軽減に資する効果が見込まれる。今後も同システムへの利点を取り込めるよう準備を進め、災害時の体制強化につなげる。令和8年1月に予定の訓練では、ペットの同行避難、同伴避難を想定した受付や衛生管理のプロセスを組み込んだ実効性のある訓練を企画している。



ペットとの避難の
取り扱いについての進捗状況を伺う
ペットの同行避難、同伴避難を想定した
実効性のある訓練を企画している
(総務部危機管理監)

活力と魅力を兼ね備えた
まちづくりについて

(質問者) 大阪維新の会(杉本 哲也・本郷 真也) 百々 麻希



問 ①財政非常事態宣言解除後も子ども子育てまんなかのまちを実現するよう取組をお願いする②消滅可能性自治体にも挙げられた本市では若い世代の流出を防ぎ、移住定住を促進していく必要があることから万博やイベントなどで本市の魅力をPRすることをお願いする③ひとり暮らしの高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって自立した生活が営むことが出来るよう引き続き取組をお願いする。

答 ①最重要課題の一つである子ども子育て拠点整備について、再構築方針を策定のうえ、着実に推進し、充実した子育て環境の構築を図る②万博会場に近いという地理的優位性を活かし、本市の自然や食文化、体験型観光のPRを強化する③高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持って自立した生活を継続して営むことができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援を一体的に提供できるよう取り組む。



財政非常事態宣言解除後も子ども子育て
まんなかのまちを実現するよう取組をお願いする
充実した子育て環境の構築を図る (市長)



消滅可能性自治体からの脱却について

市民くらぶ

いむろ としかず
若室 敏和



問 本市は今、人口戦略会議が定義した消滅可能性自治体744のひとつとなっている。同自治体とは、2020年から2050年の30年間に、20歳から39歳の女性人口の減少率が50%を超えると予想される自治体である。本市が生き残り自立するためには、一日も早く脱却する必要があるが、肝心なのは、適材適所の多彩な人事施策と未利用地の有効利活用による自主財源の確保が必要不可欠と考えるが、どうか。

答 消滅可能性自治体に分類され、改めて本市が直面する人口減少と地域活力低下の課題を真摯に受け止める必要があると認識した。総合計画にある将来の都市像の実現に向けた取組を全庁一丸で進めるため、施策の選択と集中を徹底するとともに、組織面においては人材育成と人事評価の活用により機動力を高める。財政面においては市有財産の利活用を進め、ふるさと納税による寄附の増額に積極的に取り組む。

適材適所の多彩な
人事施策が必要不可欠と考える
人材育成と人事評価の
活用により機動力を高める (市長)



高齢者が暮らしやすいまちづくりについて

大阪維新の会

すぎもと てつや
杉本 哲也



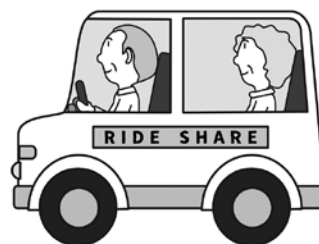
問 私が視察に行った大分県別府市にしても、先日ヒアリングに行った三重県多気町にしても、利用者の都合で利用できる、いわゆるオンデマンド型のライドシェアとともに、運行ルートと時間が決まっている乗合式の小型車両ライドシェアを併用している。運行ルート、時間が決まっている乗合式の小型車両ライドシェアを活用することは考えないか？

答 運行ルートと時間を決めて、ワンボックスカーを使用して共助型ライドシェアとして運行している事例があることは認識している。原則、地域で車両を確保し、地域の利用希望者の実情とドライバー確保が合致すれば、運行ルートや時間をあらかじめ決めた乗合式小型ライドシェアは、手法の一つとして考えられるものと認識している。

運行ルート、時間が決まっている乗合式の小型車両ライドシェアを活用することは考えないか
手法の一つとして考えられるものと
認識している (未来創生部理事)



その他の質問事項
○子育て拠点再構築方針の再構築について



「定例会及び委員会」のライブ配信をしています！

市議会のウェブサイトでは、ライブ配信の他、次回定例会のご案内や一般質問通告書、議決結果表、議会だより、定例会の「録画映像」等を掲載しています。

また、「会議録検索システム」を市議会ウェブサイトに搭載しています。これにより、本会議での内容を記録した「会議録」、委員会での内容を記録した「委員会録」をインターネットを通じてご覧いただけるようになっています。

市議会ウェブサイトには、阪南市ホームページ下段にある「阪南市議会」のボタンをクリックしていただくとアクセスできます。
多くのアクセスをお待ちしています。



財政非常事態宣言解除後の 行革の継続・推進について

大阪維新の会

すみの 角野 信和



問 令和6年度決算において財政非常事態宣言解除ができれば、喜ばしいことである。行革をしつかり継続することとで筋肉質の街を作っていきたいと考える。宣言の解除は、金持ちの街になった証ではない。早期健全化団体転落が少し遠のいただけである。決算審査意見書では、自主財源の少なさを指摘している。宣言の解除後、行革の運用をどのように進めるのか、総括を含め、考え方を聞き取る。

答 令和6年度決算において、財政非常事態宣言が解除できる見込みであるが、本市の財政状況は脆弱な財政基盤に加えて、人口減少、少子高齢化等を背景とした構造的な問題により依然厳しい状況にある。解除後、財政収支は直ちに赤字になることはないものの、行財政構造改革の取組は必要不可欠であるため、プラン改訂版に掲げている取組の方向性を踏まえつつ、より実効性のある取組を引き続き推進する。

宣言の解除後、行革の運用をどのように進めるのか
プラン改訂版に掲げている取組の方向性を
踏まえつつ、より実効性のある取組を
引き続き推進する（市長）



第2次阪南市子育て拠点再構築 方針(案)に至るプロセスについて

市民くらぶ

あさ い 浅井 妙子



問 「子育て拠点再構築」は、市政の需要課題である。市長は、議員時代から「プロセスが大事」「市民にきちんといいねに説明して」ということを発言されていたのに、今回の案は、議会に対しても、現在子育て中の方々に對しても、情報ゼロから一気に準備万端整い、しかも選択肢のない一択の提案だった。庁内でどんな案が出され、どれくらい議論されてこの案に至ったのかのプロセスについてお聞きする。

答 いつからというところ、これまでのずっと長いこの議論のいろいろ集積したものに合わせて私が市長になってから、子ども子育てはまんなかでやっていくんだという方針を受けて検討してきたもので、もちろん市民の皆様への説明会、保護者の皆様への説明会を受けて、その中で調整できるものは調整をして、しっかりと仕立てていこうというふうを考えている。

どれくらい議論されてこの案に至ったのかの
プロセスについてお聞きする
私が市長になってから、子ども子育ては
まんなかでやっていくんだという方針を
受けて検討してきた（市長）



その他の質問事項 ○特定免許失効者管理システムについて ○リチウムイオン電池の処理方法について



議会 日誌

7月

- 1日 泉州南消防組合議会議会運営委員会・議員全員協議会
- 8日 泉州南消防組合議会臨時会
- 9日 広報編集委員会
- 14日 南都市議会議会総会
- 15日 泉州南消防組合議会行政視察
- 17日 議員連絡会・議員全員協議会
- 18日 全国市議会議長会建設運輸委員会（東京）
- 22日 総務事業常任委員会
- 24日 厚生文教常任委員会
- 25日 大阪広域水道企業団議会全員協議会
- 29日 第一阪和国道複線化連絡協議会総会
- 30日 大阪府後期高齢者医療広域連合議会臨時会

8月

- 1日 南都市議会議長会議員研修会（和泉市）
- 6日 南都市議会議長会先進都市視察（茅ヶ崎市・横須賀市）
- 7日 大阪広域水道企業団議会全員協議会・臨時会
- 19日 泉州南消防組合議会議会運営委員会・全員協議会
- 20日 大阪府市議会議長会総会・研修会
- 21日 議員連絡会・大阪広域水道企業団阪南水道事業にかかる勉強会・議会運営委員会
- 22日 泉州南消防組合議会定例会
- 27日 泉州南消防組合議会臨時会・全員協議会
- 28日 本会議（2日目）

あなたも議会を傍聴しませんか

市議会には定例会(3月・6月・9月・12月)、臨時会(必要の都度)と委員会があります。傍聴には難しい手続きは不要です。当日、議会事務局にて受付(住所、氏名等記入)していただくだけで自由に傍聴できます。議場の定員は34名、委員会の同室傍聴は先着順4名(受付開始時間は8時45分から)です。

また、定例会は委員会室や市役所ロビーでテレビ中継、委員会は委員会室でテレビ中継も行っています。どうぞお気軽にお越しください。

傍聴された方を対象にアンケートを実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、9月定例会の傍聴者数は、延べ23人でした。



会議録は、図書館・公民館・情報公開コーナー、または市議会ウェブサイトで閲覧できます。

9月定例会の会議録は11月末頃に完成予定です。

次の定例会は、
12月2日(火)から
の予定です。

※変更になる場合があります

詳しくは議会事務局まで

☎471-5680(直通)

住宅耐震化率の促進について

大阪維新の会 本郷 真也



問 本市における住宅耐震化率の促進については、近く発生すると予測されている南海トラフ大地震への対策としても急務であると考えます。現段階では大阪府の水準を下回っている状況であり、手を打っていく必要がある。耐震改修促進計画、強靱化地域計画の中で対策・計画を練られている中とは思いますが、本市の現状と対策、そして耐震化促進に向けての具体的な取組について伺う。

答 住宅の耐震改修を促進するため、耐震診断を受ける方に耐震診断の費用の一部を補助する制度を設けている。また、耐震改修を行う場合は、世帯の収入額に応じて最大75万円を補助する制度を設けている。また、耐震診断・改修の普及啓発として、個別相談会の開催、相談会に合わせて耐震補強に関する展示会の開催などを実施しており、これらの内容を市の広報紙やホームページなどでお知らせしている。

現状と対策、耐震化促進に向けての具体的な取組について伺う
耐震診断及び耐震改修費用の一部を補助する制度を設けている(都市整備部長)



その他の質問事項
〇空き家対策について
〇にぎわい創出に向けた観光振興について



議会日程

9月

1日 総務事業常任委員会
2日 厚生文教常任委員会
3日 予算常任委員会
5日 決算常任委員会
25日 本会議(最終日)・議員連絡会
28日 岡山県美咲町議会より行政視察(重層的支援体制について)
京奈和関空連絡道路建設促進期成同盟会総会
京奈和関空連絡道の集い

10月

1日 全員協議会
3日 全員協議会・会派代表者会
6日 会派代表者会・全員協議会
8日 臨時会
10日 近畿市議会議長会議長研修会
10日 南部市議会議長会と関西エポ
ート株式会社との意見交換会
21日 議員連絡会
22日 総務事業常任委員会
23日 厚生文教常任委員会
29日 静岡県湖西市議会より行政視察(フックレジット等について)
30日 第二阪和国道複線化連絡協議会
31日 陳情活動(大阪)
陳情活動(東京)
陳情活動(東京)



委員会

レポート

このコーナーでは、本会議の付託案件以外の主な報告事項等を紹介します。

厚生文教常任委員会

9月2日

第2次阪南市子育て拠点再構築方針及びパブリックコメントの結果等について

【市からの報告内容】

パブリックコメントでは、「スケジュールが速すぎる」「再構築せず、既存の4施設を残してほしい」「来年度の園児募集に配慮してほしい」「下荘保育所の存続」「廃止後の施設の子育て支援施設としての利活用」「財政問題を子育て世帯に転嫁していないか」「子育て世帯を呼び込むための施策の再検討」等、他にも様々な意見をいただきました。

ご意見を踏まえ、方針（案）から、まい幼稚園の園児募集を令和8年度から9年度の期間は継続して実施します。はあとり幼稚園及び石田保育所については、施設整備、各施設の環境向上、機能強化などを図ります。また、

下荘地域で公募する民間の幼保連携型認定こども園の選定では、公立施設の施策や取組事項の引き継ぎや在籍児童に配慮すること等を追加しました。

主な質疑・答弁は次のとおりです。

委員 再構築方針は何のためにするのか、お伺いする。

こども未来部長 安全・安心が一番で、長期的に安定した子どもの育ちの環境を促進するためである。

委員 9月6日に意見交換会が予定されているが、既に（案）がとれて方針となっている。意見交換会での意見の取り扱いはどうなるのか。

こども政策課長 市の方向性を示させていただく形となる。運用について、意見交換を行い、今後の進め方に活用していく。

委員 9月に市議会議員選挙があり、10月からは新しい議会となることから、一旦止めて、少し時間をかけてやるべきではないのか。

市長 時期が限られていることや下荘保育所やまい幼稚園に通っている子ども達を考えると、1日も早く解決しなければならぬといった思いから、今

回のスケジュールとなった。今後とも丁寧な説明を続けていく。

委員 市長は、議員時代に下荘地域と小学校のつながりに尽力されていたが、その辺りのイメージはあるのか。

市長 公立・民間に限らず、小学校や地域の連携・交流は必要と考えている。地域にとつて子育て施設、小学校も含めて、大切だと認識しているので、しっかりと進めていく。

委員 下荘保育所が今後、公立で残る可能性はないのか。

市長 阪南市では公立の子育て拠点が必要だということを一番大切にしている。それをなし得るためには、2つの園を将来にわたって維持できないというところに立脚している。これまで積み上げてきた公立の子育てをしっかりと大切にしたいという思いを酌んでいただきたい。



編集後記

師走の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。本年は本市において、市議会議員の補欠選挙および任期満了に伴う一般選挙が執行され、本号は改選後初めての「市議会だより」となります。

新たに選出された私たち議員一同は、市民の皆様のご期待に応えるべく、いただいたお声を真摯に受け止めて、市政への確に反映させ、安心・安全で暮らしやすいまちの実現に向け全力で取り組んでまいります。

また、本誌を通じて、市民の皆様に分かりやすく丁寧な情報提供を行うよう努めてまいります。

市民の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

（石橋 史年）

議会広報

編集委員会委員

委員	長	石橋	史年
副委員	長	山本	光男
委員		本郷	真也
委員		福田	雅之
委員		岡	やい
オブザーバー			
議長		山本	守
副議長		畑中	謙

「一」意見

をください

本誌が、皆さんにとってより身近なものになりますよう、内容やレイアウトについての提言等のごようなご意見を結構ですので、ご意見・感想がございましたら、左記までお寄せください。

〒599-1029

阪南市尾崎町35番地の1

議会広報編集委員会

TEL 471-5680（直）

E-mail gikai-syomu@city.haman.jp